

基本課題Ⅳ 就労（働く場における男女平等と女性の経済的自立を確保する）

目標 8 職場における男女平等の推進

目標 9 女性の職業能力の開発と就労機会の拡大

（1）職業能力の向上と経済的自立に向けた支援

状況

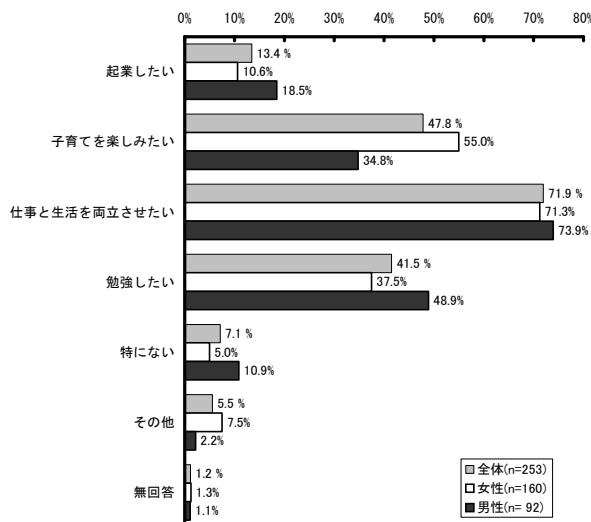
就労の場では、法整備が進んでいく一方で、雇用形態の傾向の違いや給与格差などがあり、能力活用の機会が十分でない傾向が伺えます。

また、女性は、結婚・妊娠・出産・育児・介護等のため退職せざる得ない場合や、希望する働き方で再就職できていない場合があります。平成24年度に行った20代を対象とした市民意識調査では「これからやってみたいこと」で「仕事と家庭の両立をさせたい」との回答が、「今悩んでいること」で「仕事のこと」との回答が一番多い状況が伺えました。若者にとって「仕事」が意識の中で多くを占めている状況が伺えます。

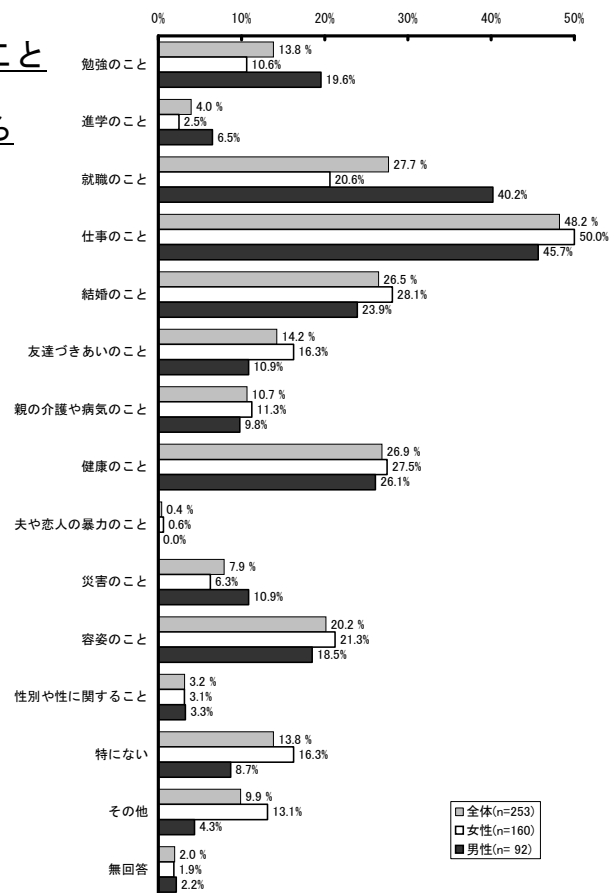
今悩んでいること

（平成24年度市民意識調査）から

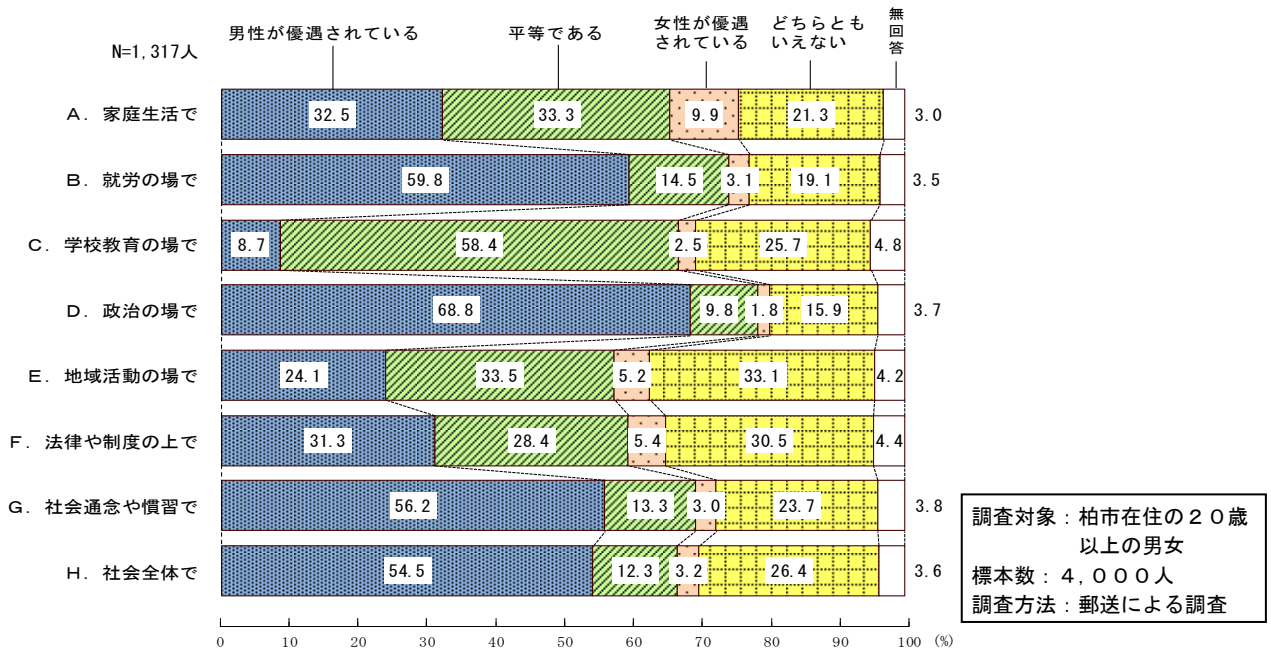
これからやってみたいこと



調査対象：柏市在住の20歳代の男女
 標本数：1,800人
 調査方法：郵送による調査（1,000人）
 インターネット調査（800人）



分野別の男女平等感



「柏市男女共同参画に関する市民意識調査」平成26年度

女性の働き方の理想と現実

(%)

	総数(人)	女性の現実の働き方									
		仕事を持たない	結婚するまでは仕事を持つ	子どもができるまでは仕事を持つ	子どもができて、ずっと仕事を続ける	子どもができて、(フルタイム)を持つ	子どもができたなら再び仕事(パートタイム)を持つ	子どもができたなら仕事をやめ、家族の介護をするときは、仕事をやめる	その他	無回答	
全体	1,037	9.9	10.1	8.9	16.2	9.7	32.3	2.8	4.7	5.3	
女性の働き方の理想	仕事を持たない	7	28.6	14.3	-	28.6	14.3	14.3	-	-	-
	結婚するまでは仕事を持つ	53	13.2	45.3	3.8	5.7	5.7	9.4	-	7.5	9.4
	子どもができるまでは仕事を持つ	54	9.3	14.8	33.3	5.6	5.6	24.1	-	1.9	5.6
	子どもができて、ずっと仕事を続ける	256	8.2	7.8	7.0	43.0	4.7	18.0	1.6	5.1	4.7
	子どもができたなら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事(フルタイム)を持つ	226	9.7	9.7	8.0	8.8	27.4	29.2	0.9	4.0	2.2
	子どもができたなら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事(パートタイム)を持つ	334	10.2	6.6	8.7	4.8	3.6	54.8	3.9	2.4	5.1
	家族の介護をするときは、仕事をやめる	22	9.1	9.1	4.5	9.1	-	22.7	36.4	-	9.1
	その他	60	10.0	5.0	10.0	16.7	8.3	20.0	1.7	21.7	6.7

調査対象：柏市在住の20歳以上の男女
標本数：4,000人
調査方法：郵送による調査

「柏市男女共同参画に関する市民意識調査」平成26年度

※網掛けのある部分が、理想どおりに働けている人の割合を示しています。

どのような働き方を理想としていても、理想とした働き方を現実にもしている人が多い結果となりました。しかし、「子どもができたなら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事(フルタイム)を持つ」を理想とする人は、現実には「大きくなったら再び仕事(パートタイム)を持つ」が一番多くなっており、フルタイムを理想としながらパートタイムで働いている人も多い結果となりました。

特に取り組んだこと

1 啓発資料の配布、相談窓口の情報提供を行いました

◇関係機関や千葉県と連携した講座の実施

労働法令，セクハラ防止，各種講座，相談窓口などの労働者に関する資料の配布を行いました。また，柏工業専門校と連携して就労に関する能力向上のための講座の実施や，ハローワーク，千葉県等関係機関と連携をとりながら就労のサポートを行いました。

商工振興課

2 農業経営への女性の参画支援を行いました

◇家族経営協定制度などのPR

家族経営協定を締結している農家より，農業経営改善計画の共同申請があり，配偶者・後継者がそれぞれ認定農業者となりました。平成26年度末までの認定農業者115名のうち7名が女性農業者となっています。

庁内連携

推進状況

「就労の場において、男女が平等になっている」と感じる人の割合

平成21年度意識調査	⇒	平成26年度意識調査	⇒	平成27年度目標
<u>14.2%</u>		<u>14.5%</u>		<u>20%</u>

家族経営協定の締結家族数

平成23年度	⇒	平成26年度	⇒	平成27年度目標
<u>18件</u>		<u>21件</u>		<u>20件</u>

目標達成!

※家族経営協定とは，家族農業経営にたずさわる各世帯員が意欲とやり甲斐を持って経営に参画できる魅力的な農業経営を目指し，経営方針や役割分担，家族みんなが働きやすい就業環境などについて，家族間の十分な話し合いに基づき取り決めるものです。

主な取り組み

- ・女性農業者の活動等の紹介，千葉県女性農業委員の会の研修への参加
(農政課・農業委員会事務局)
- ・就職希望者への支援として講座や就職相談会を実施(商工振興課)

今後の取り組み

- ・労働に関する情報発信や講座実施(庁内連携)

- ・女性農業委員の登用への働きかけ（庁内連携）
- ・柏市農業女性連合会と連携した家族経営協定のPR（庁内連携）

目標 10 男女が職業生活と家庭生活を両立できる環境づくり

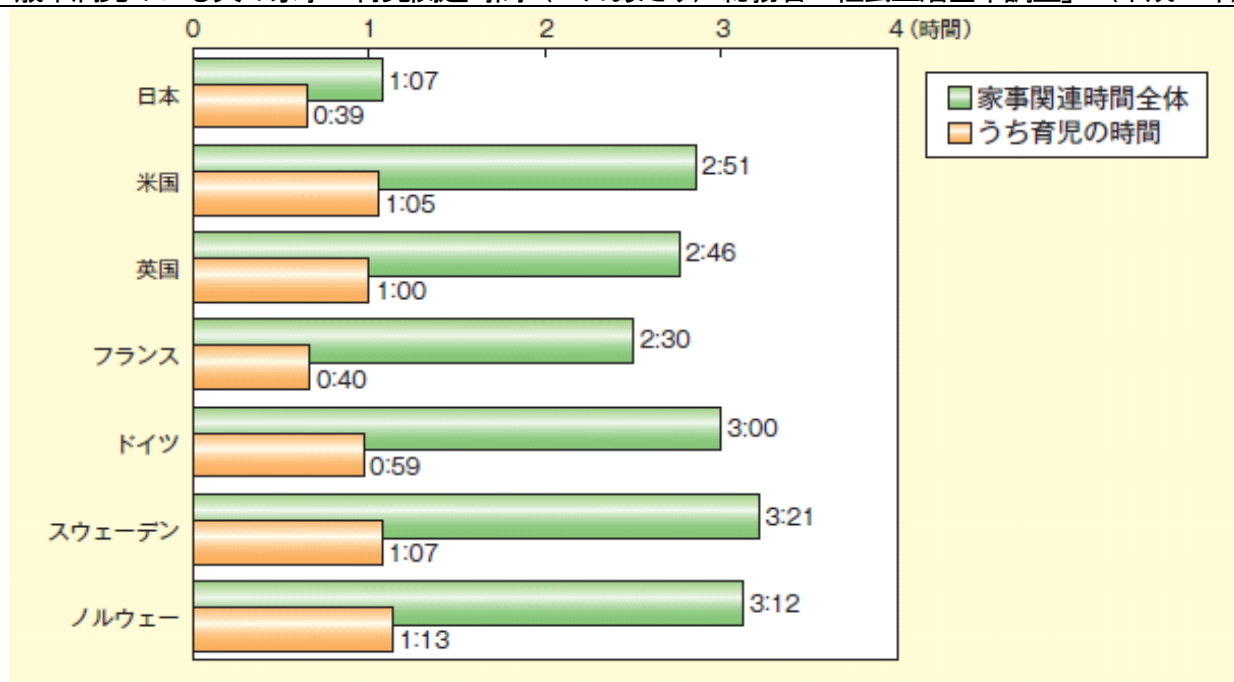
- (1) 家庭生活・地域活動への男女共同参画の推進
- (2) 保育サービスの充実
- (3) 介護が必要な家庭への支援
- (4) 女性が働き続けられるための調査・研究

状況

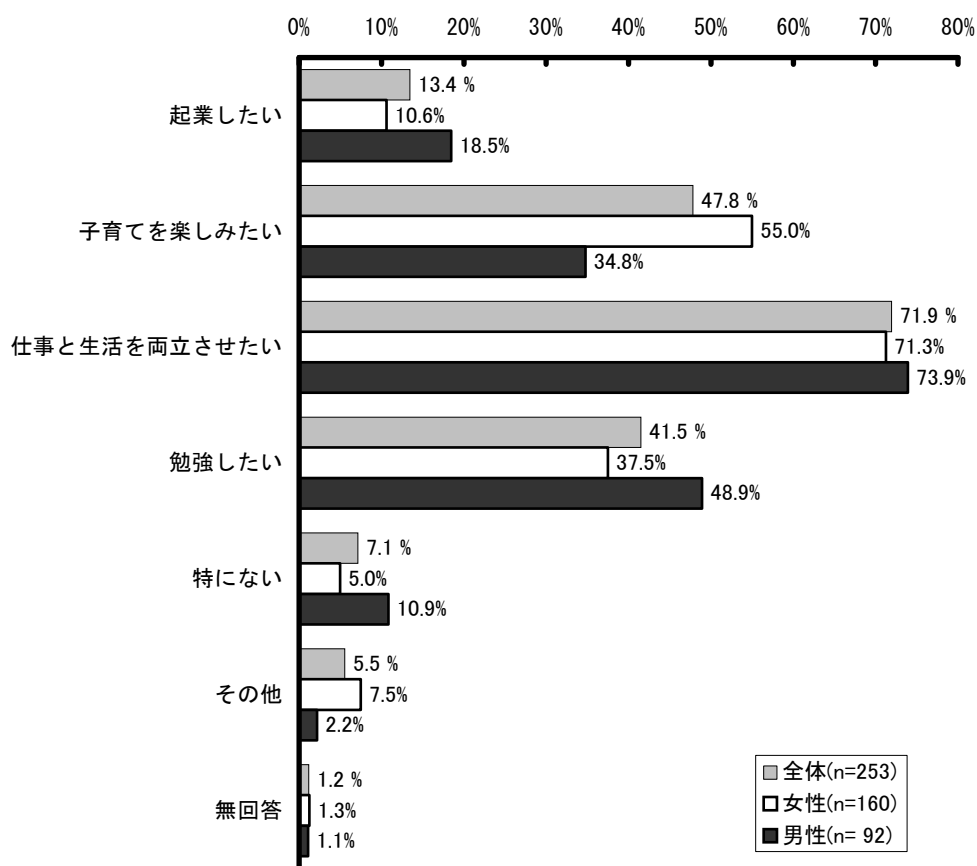
我が国では、6歳未満の子どもを持つ夫の家事・育児関連に費やす時間（1日あたり）は67分と他の先進国と比較して低水準にとどまっています。

20代を対象にした市民意識調査では、男女共に仕事と家庭の両立をやってみたいと思う人が多いことがわかりました。

6歳未満児のいる夫の家事・育児関連時間（1日あたり）総務省「社会生活基本調査」（平成23年）



これからやってみたいこと（平成24年度市民意識調査）



調査対象：柏市在住の20歳代の男女
 標本数：1,800人
 調査方法：郵送による調査（1,000人）
 インターネット調査（800人）

特に取り組んだこと

1 働く男女（ひと）と家庭に優しい企業表彰の選考を行いました

◇働く男女（ひと）と家庭に優しい企業表彰の選考

誰もが健康で心豊かな生活ができるよう、仕事と家庭の両立などを積極的に支援している企業の表彰を行う、「働く男女（ひと）と家庭に優しい企業表彰」の選考を行いました。平成26年度は1社から応募がありましたが、選考の結果、残念ながら企業表彰の受賞には至りませんでした。

推進状況

育児休業・介護休業をとりやすいと感じる人の割合

	平成 21 年度 意識調査		平成 26 年度 意識調査		平成 27 年度目標
育児休業	<u>29.6%</u>	⇒	<u>30.4%</u>	⇒	<u>40%</u>
介護休業	<u>23.4%</u>	⇒	<u>23%</u>	⇒	<u>30%</u>

主な取り組み

- ・パンフレットやHPによる，仕事と生活の両立に関する情報発信（庁内連携）
- ・保育サービスや介護サービスの提供による支援（庁内連携）

今後の取り組み

- ・講座や情報発信による，企業や市民へのワーク・ライフ・バランスの啓発（庁内連携）